

Acronis

Acronis Backup 12.5 簡単セットアップガイド

VMware 環境向け 管理サーバー
一体型仮想アプライアンス インストール手順
(All-in-One VMware appliance)

アクロニス・ジャパン株式会社

1. はじめに	2
2. 仮想アプライアンスのインストール.....	3
2-1. インストール時のエラー	7
3. デバイスの追加.....	8
4. ライセンスの割り当て	10
5. バックアップ計画の作成	11

1. はじめに

このドキュメントは Acronis Backup 12.5 における、VMware 環境に仮想アプライアンスをインストールすることを中心とした手順を紹介しています。このドキュメントでは VMware 環境を前提として解説しており、その他ハードウェアスペック、OS 等の要件については製品マニュアル等のドキュメントを参照して下さい。ここではその要件を満たす環境へのインストールを前提としています。

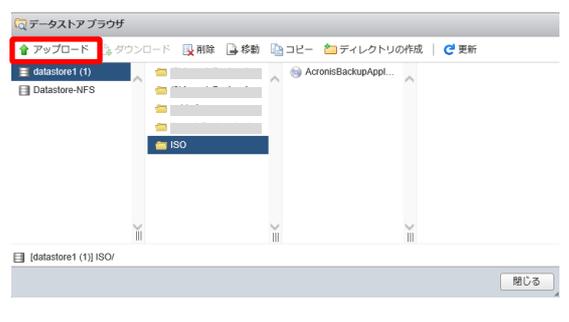
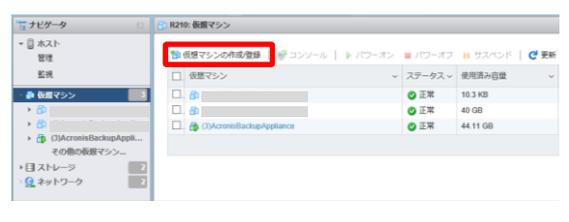
IP アドレス、ユーザーID、パスワード、ライセンス番号等の固有の環境値については適宜インストールする環境に置き換えて下さい。

本セットアップガイドでは、管理サーバー機能を含む仮想アプライアンスのインストール方法を紹介しています。管理サーバーをあらかじめインストールする必要はありません。

2. 仮想アプライアンスのインストール

アプライアンスは .zip アーカイブとして提供され、アーカイブには .ovf ファイルと .iso ファイルが含まれます。 .ovf ファイルを ESXi ホストにデプロイするか、 .iso ファイルを使用して既存の仮想マシンを起動できます。

VMware Host Client (スタンドアロン ESXi 6.0 以降の管理に使用する Web クライアント) では、OVF テンプレートをデプロイすることはできません。以下は、 .iso ファイルを使用してソフトウェアをインストールする手順をご紹介します。

	<p>仮想アプライアンス用のインストーラー (All-in-One VMware appliance) をダウンロードします。</p> <p>インストーラーのダウンロードページはアクロニスアカウント account.acronis.com にログインし、ライセンス登録後に「ダウンロード」をクリックすることでアクセスできます。</p>
	<p>ダウンロードした .zip ファイルを解凍し、 .iso ファイルをストレージへアップロードします。</p> <p>「データストアブラウザ」をクリックし、格納場所を開きます。</p>
	<p>指定のフォルダを選択し「アップロード」ボタンから .iso ファイルが保存されているフォルダを参照し、 .iso ファイルのみを選択してアップロードします。</p>
	<p>.iso 使用でのインストールとして、新しく仮想マシンを追加します。</p>



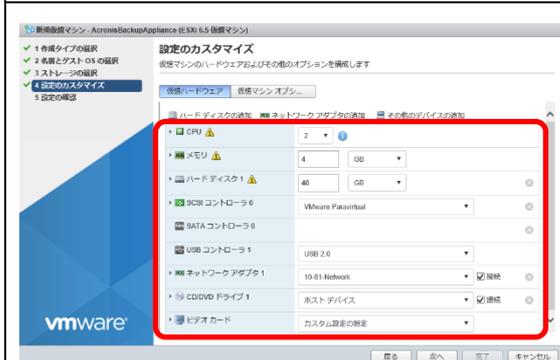
作成タイプの選択にて、「新規仮想マシン作成」を選択し、次へ進みます。



名前とゲスト OS の選択にて、任意の値を入力し、次へ進みます。



ストレージの選択にて、.iso ファイルを格納したストレージを選び、次へ進みます。



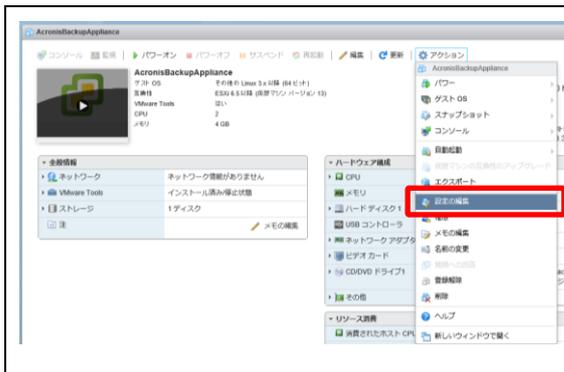
設定のカスタマイズにて、仮想マシンの構成を決定します。

仮想アプライアンスの最小システム要件は以下のとおりです。

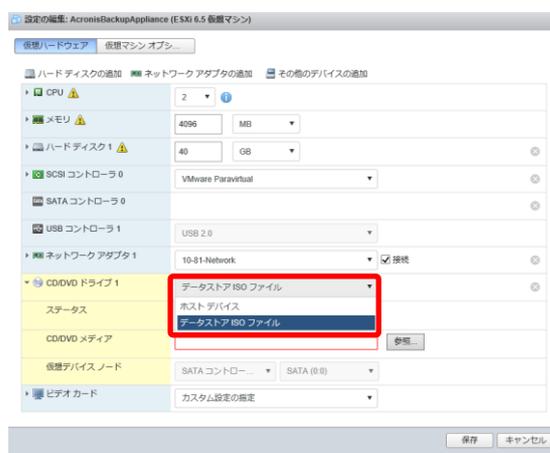
- 2 個の CPU
- 4 GB の RAM
- 10 GB の仮想ディスク 1 つ (40 GB を推奨)



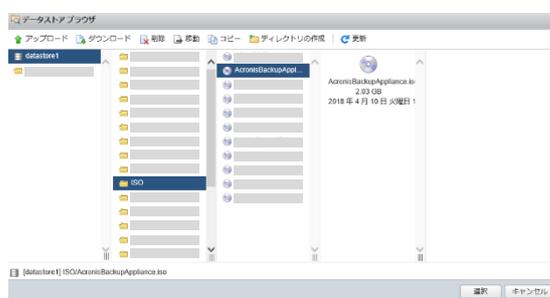
設定の確認に問題がなければ、完了をクリックします。



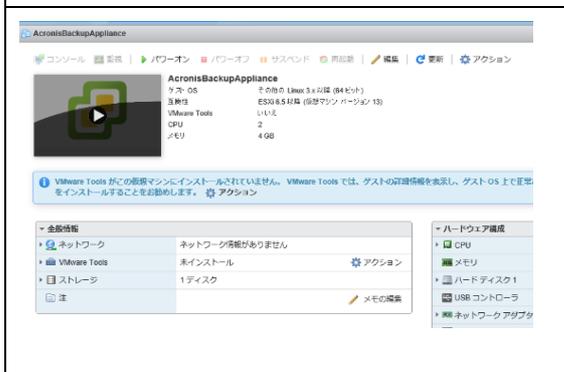
新規作成した仮想マシンを選択し、[アクション] から [設定の編集] をクリックします。



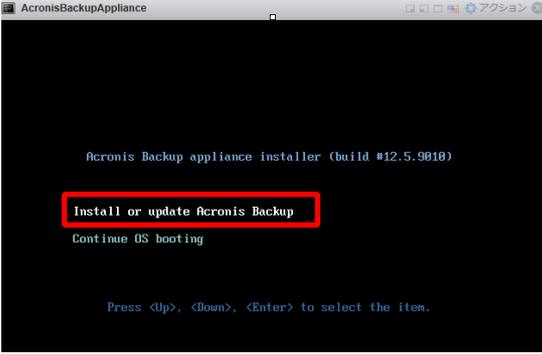
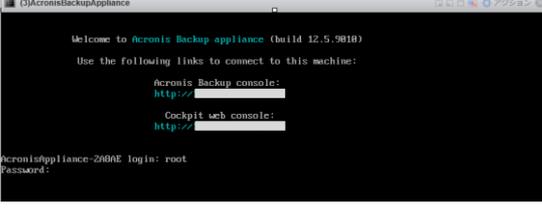
CD/DVD ドライブにて、[データストア ISO ファイル] を選択します。



先にアップロードした.iso ファイルを選択し、設定変更を保存します。



[パワーオン] をクリックして、.iso から仮想マシンを起動します。

	<p>[Acronis Backup のインストールまたはアップデート] を選択し、Enter キーを押してインストールを進めます。</p> <p>※インストール中に「Cannot resolve the SCSI ID of "/dev/sda".」というエラーが表示された場合は 2-1. インストール時のエラー をご確認ください。</p>
	<p>バックアップコンソールへのログインに使用される「root」アカウントのパスワードを設定し、インストールが完了します。</p>
	<p>設定したアカウントにて、管理コンソールにログインします。</p> <p>ログインすると、画面上にインストールされた仮想アプライアンスの情報が表示されます。</p>

2-1. インストール時のエラー



以下のエラーでインストールに失敗した場合は、手動で構成パラメータを追加します。

エラー内容：

Cannot resolve the SCSI ID of "/dev/sda".

対策：

仮想マシンの構成パラメータを変更します。

- ① [設定の編集]
- ② [仮想マシンオプション]
- ③ [詳細]
- ④ [構成パラメータ] [構成の編集]

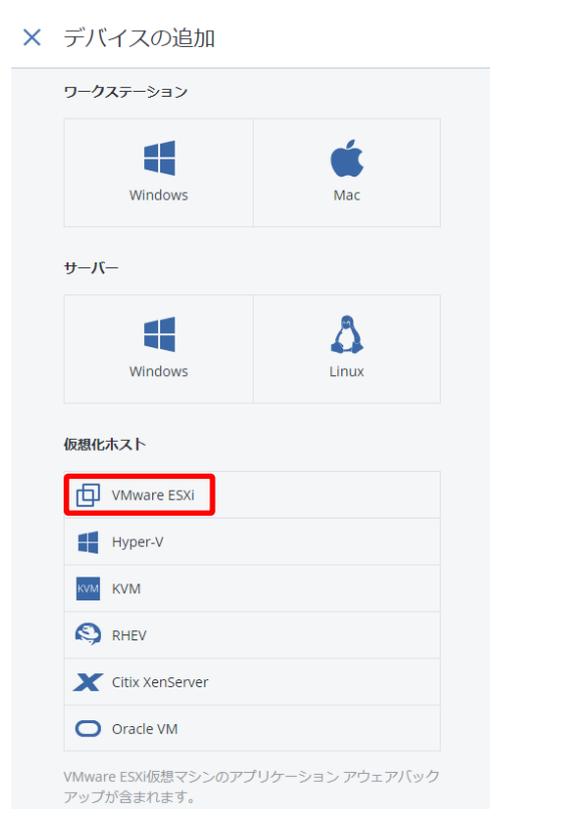
構成パラメータ画面上で disk.EnableUID パラメータを探し、値を TRUE に指定します。disk.EnableUID が存在しない場合は、下記のパラメータを新たに追加します。

キー：disk.EnableUID

値：TRUE

仮想マシンのオプション画面を終了し、仮想マシンを起動します。

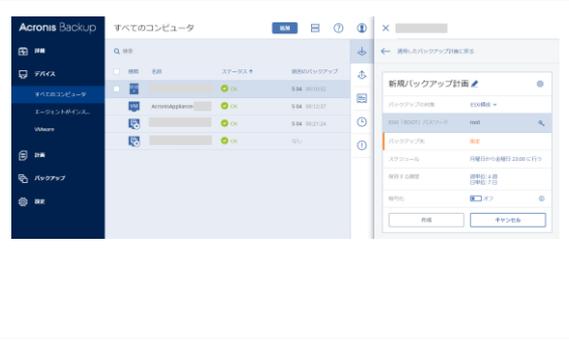
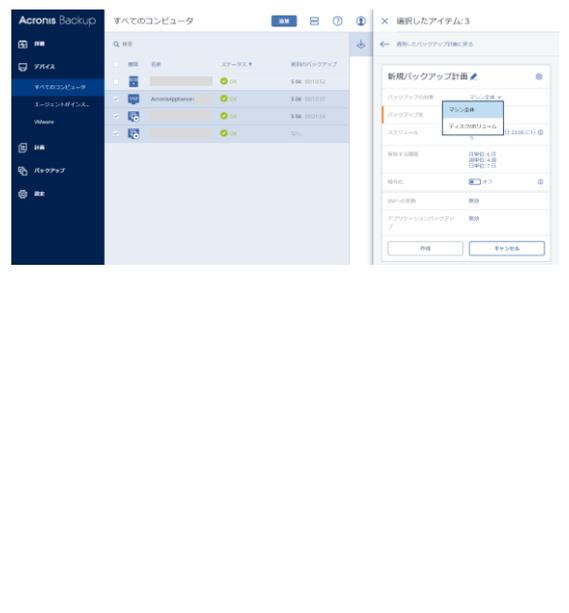
3. デバイスの追加

 <p>The screenshot shows the Acronis Backup interface. The top navigation bar includes 'すべてのコンピュータ' (All Computers) and a red box highlights the '追加' (Add) button. The main content area shows a VM icon and a table with columns for 'ステータス' (Status), '最近のバックアップ' (Recent Backup), and '次回のバックアップ' (Next Backup). A 'バックアップを再開する' (Resume Backup) button is visible.</p>	<p>バックアップ対象として ESXi ホストを追加します。管理コンソール上で [デバイス]、[追加] の順にクリックします。</p>
 <p>The 'デバイスの追加' (Add Device) dialog box is shown. It is divided into three sections: 'ワークステーション' (Workstation) with Windows and Mac; 'サーバー' (Server) with Windows and Linux; and '仮想化ホスト' (Virtualization Host) with VMware ESXi, Hyper-V, KVM, RHEV, Citrix XenServer, and Oracle VM. The 'VMware ESXi' option is highlighted with a red box. A note at the bottom states: 'VMware ESXi仮想マシンのアプリケーション アウェアバックアップが含まれます。' (Application-aware backup for VMware ESXi virtual machines is included.)</p>	<p>[VMware ESXi] をクリックします。</p>

<p>× VMware ESXi仮想マシンの追加</p> <p>VMwareエージェントのインストール方法を選択:</p> <p><input type="radio"/> 仮想アプライアンスとしてvCenterの各ホストにデプロイ</p> <p><input type="radio"/> すでにインストールされているエージェントを登録</p> <p><input checked="" type="radio"/> 登録済みのエージェントを設定</p> <p>① エージェントがインストールされているマシン: AcronisAppliance</p> <p>② vCenterまたはスタンドアロンのESXiを指定:</p> <p>IPアドレス/名前</p> <p>② ユーザー名</p> <p>パスワード</p> <p>設定</p>	<p>マシン追加のための情報を入力します。</p> <p>① 「エージェントがインストールされているマシン: マシン名」が既に表示されている場合はそのまま次の設定項目に進みます。</p> <p>マシンが登録されていない場合は、[インストールオプションをすべて表示]をクリックして[すでにインストールされているエージェントを登録]を選択後、「IPアドレス/名前」、「ユーザー名」、「パスワード」を指定して「接続」をクリックします。</p> <p>② バックアップ対象のESXiホスト、またはvCenterを指定後に[設定]をクリックします。</p>
<p>× アクティビティの詳細</p> <p>23:47:05 – 23:47:05 管理サーバー上でのESXi [] の情報をアップデートしています (AcronisAppliance-[])</p> <p>ステータス: 正常終了 エージェント: AcronisAppliance-[] 開始者: root</p> <p>開始時刻: 2018年5月3日 23:47:05 完了時刻: 2018年5月3日 23:47:05 時間: 0秒</p> <p>ログをダウンロードする すべてのプロパティ</p>	<p>[アクティビティの詳細]の画面に切り替わり、処理がすべて完了するとバックアップ対象の仮想ホストとその仮想ホスト上の仮想マシンが管理コンソール上に表示されます。</p>

5. バックアップ計画の作成

インストールとプロダクトキーの登録が完了したらバックアップ計画を設定します。バックアップ計画とは、バックアップの対象やバックアップの保存先、スケジュール、世代管理、データの暗号化などを定義する一連のルールです。

	<p>仮想ホストを指定した場合、ESXi ホストの構成情報をバックアップできます。バックアップ先やスケジュール等を指定して作成をクリックするとスケジュールどおりにバックアップが実行されます。[今すぐ実行] をクリックするとすぐに手動でバックアップが取得できます。</p>
	<p>バックアップ対象の仮想ホスト上の仮想マシンや本ガイドに沿ってインストールした管理サーバー一体型の仮想アプライアンス (All-in-One VMware appliance) をバックアップする場合、マシン全体 (OS まるごと) やディスク/ボリューム単位のバックアップを取得できます。</p> <p>仮想マシンでファイル/フォルダ単位のバックアップを取得する場合は、その仮想マシンに Windows や Linux 向けのエージェントを個別にインストールします。既にライセンスが適用された仮想ホスト上の仮想マシンの場合、追加のライセンスは不要です。</p>